

病害虫防除

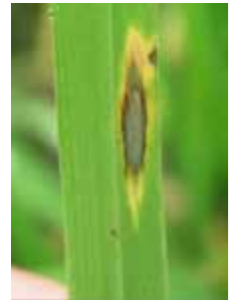
いもち病の防除

本年は夏場の雨が多く、いもち病の発生が見られます。
圃場でいもち病が発生した場合は防除を実施しましょう。

【いもち発見時の防除対策】

- ① 病斑を発見した場合、直ちに防除
- ② ①の後も新たに病斑があった場合は10日後に追加防除する
- ③ 葉いもちが多い圃場では穂肥の施用を控える
- ④ 出穂前に葉いもちが発生している圃場では
穂ばらみ期と穂揃期に薬剤を散布する

【薬剤】ブラシン粉剤 DL 3~4kg/10a 収穫7日前まで（特裁は不可）



ラジコンヘリ防除

7月18日より各地にてラジコンヘリによる一斉防除が実施されています。
今後は下記内容にて実施されますのでご協力いただきますようお願いいたします。



今後の散布予定日	散布地区	散布時間
7月27日（月）	王子保	午前5時 〃 散布終了時 （坂口地区は白山地区終了後に散布） 通勤通学時間帯を考慮し、下記の時間帯は一時休止します。 （～8/7） 午前7：00～午前8：30 （8/8～） 午前7：30～午前8：30
7月28日（火）	北新庄	
7月29日（水）	北新庄	
7月31日（金）	吉野	
8月1日（土）	大虫	
8月2日（日）	国高・神山第一・神山	
8月3日（月）	北日野（西）	
8月4日（火）	北日野（東）	
8月6日（木）	味真野・大虫（大豆）	
8月7日（金）	坂口・白山	
8月8日（土）	王子保	
8月9日（日）	北新庄	
8月10日（月）	北新庄	
8月11日（火）	吉野	
8月22日（土）	北新庄・萱谷	

【散布にあたってのお願い】

- ① 散布中および散布直後は散布区域に立ち入らないでください。危険ですので興味本位で近づかないでください。
- ② 散布区域内にて散布している間は、洗濯物を屋内に入れ窓を閉めてください。
- ③ 万が一、身体に薬剤がかかった場合はすみやかにうがいをし、身体を石鹸で洗い流してください。

※地区ごとの詳しい散布区域は JA 越前たけふ各支店にお問い合わせください。

【ラジコンヘリ防除延期時の日程と注意事項】

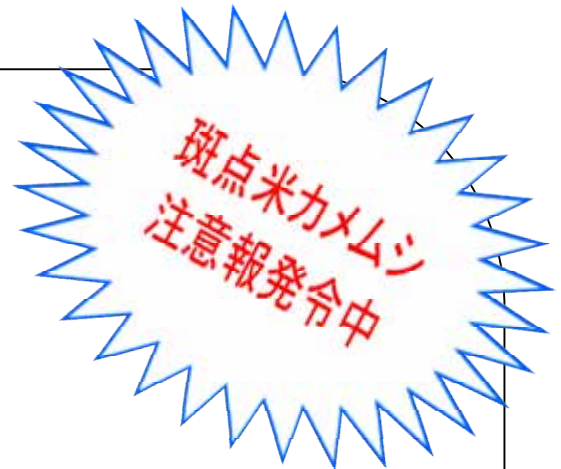
天候不順の場合、当日の回復が見込める場合は散布時間を遅らせて散布します。
 回復が見込めない場合は予備日や他地区の終了後に散布します。
 ※順延ではありませんのでご注意ください。
 ※散布日変更の場合は延期散布日前日の夕方に広報車にてお知らせいたします。



仕上げ防除を行いましょ

本年は斑点米カメムシ注意報が発令されており、雑草の多い水田ではすでに水田内への侵入も確認されています。ラジコンヘリ防除が実施されますが、仕上げ防除も行い斑点米の発生を防ぎましょう。

特に日本晴は昨年大発生したクモヘリカメムシの被害が予想されるため、出穂後に必ず仕上げ防除を実施しましょう。



6月30日に福井県農業試験場より斑点米カメムシ注意報が発令されました。

【注意点】

- 粒剤で防除する場合は薬剤の散布時期に注意する
- 本田防除の際は畦畔も含めて防除する
- 雑草の多い水田や休耕田の周りは徹底して防除する
- 出穂7日前以降の草刈りは本田への侵入を助長するため行わない。
- 特栽米はラジコンヘリ防除を含めて2回（所定の剤）しか防除できませんので注意しましょう。

【薬剤】 エクシード粉剤 DL 3kg/10a 収穫7日前まで
 アルバリン粉剤 DL 3kg/10a 収穫7日前まで



姿			
名称	トゲシラホシカメムシ	ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ
体長	4.5~6mm	9~11mm	15~17mm



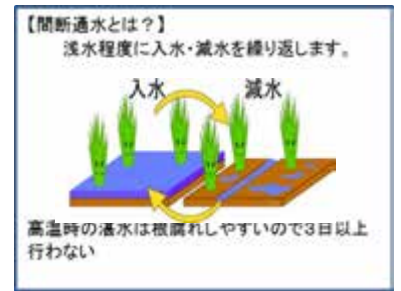
姿		
名称	アカヒゲホソミドリカスミカメムシ	アカスジカスミカメムシ
体長	5~6mm	4~5mm



収穫までの水管理

1. 幼穂形成期～出穂期

中干し～幼穂形成期まで行っていた間断通水は引き続き継続しましょう。稲の根量が最も多いのはこの時期で、その後、徐々に減少していきます。この時期は気温・水温ともが高いため、3日以上湛水は根の活力が低下する原因となりますので注意しましょう。また一括肥料の溶出には土壌水分が必要であり、また土壌表層の「うわ根」と呼ばれる細い根は乾燥すると消失しやすいので足跡に水が常に溜まっているように丁寧な水管理を行ないましょう。



2. 出穂期前後

出穂前後は水が最も必要な時期です。また出穂後は根の老化が始まるため、田面が乾燥しない管理により葉色を保つことで登熟を順調に促し、白未熟粒を防止します。またフェーン現象などの強風が予想される場合は、茎葉からの水分蒸散を防ぐため、湛水管理を実施しましょう。



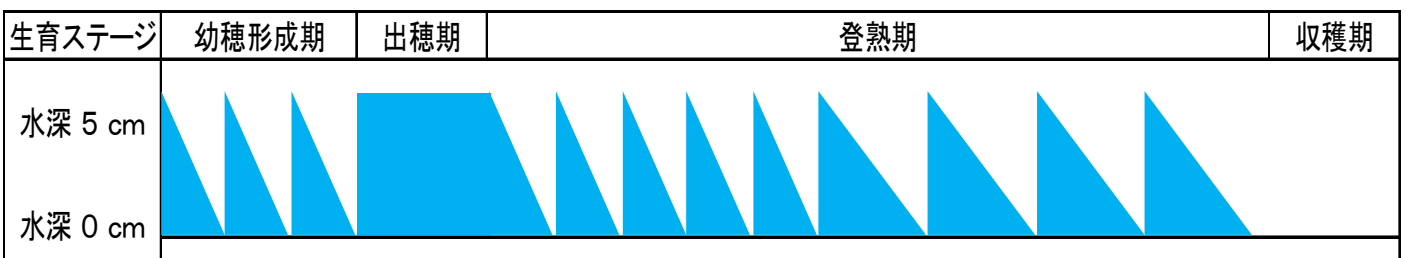
登熟期間の灌水方法と根



3. 刈り取り前まで

コンバイン作業のために早期落水をすると、未熟粒や胴割粒が増加する要因となり、収量・品質ともに低下します。足型に残る程度には水分を保ち、刈り取り予定の3～5日前までは間断通水を実施しましょう。

【各生育ステージの水管理】



品種	ハナエチゼン	コシヒカリ	日本晴
出穂期	7月15日頃	8月2日頃	8月7日頃